

# 平成31年2月議会 議案説明資料

ページ

## ○ 予算議案

- 1 議案第1号  
平成30年度福岡市一般会計補正予算案（第4号）・・・・・・・・・・ 1

## ○ 条例案

- 2 議案第16号  
福岡市地方活力向上地域における本社機能の整備促進に関する条例  
の一部を改正する条例案・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5

経済観光文化局

# 1 平成31年2月 補正予算案経済観光文化局集計表

## (1)一般会計

| 補正前の額(A)   |              |         |            |            | 補       |       |
|------------|--------------|---------|------------|------------|---------|-------|
| 歳出予算額      | 財源内訳         |         |            |            | 歳出予算額   | 国県支出金 |
|            | 特定財源         |         |            | 一般財源       |         |       |
|            | 国県支出金        | 市債      | その他        |            |         |       |
| 86,536,496 | 95,790       | 162,000 | 75,231,119 | 11,047,587 | △80,435 | —     |
|            | 計 75,488,909 |         |            |            |         |       |

(単位:千円)

| 正 額 (B)   |         |      | 補正後(A+B)   |              |         |            |            |
|-----------|---------|------|------------|--------------|---------|------------|------------|
| 財源内訳      |         |      | 歳出予算額      | 財源内訳         |         |            |            |
| 特定財源      |         | 一般財源 |            | 特定財源         |         |            | 一般財源       |
| 市債        | その他     |      |            | 国県支出金        | 市債      | その他        |            |
| —         | △80,435 | —    | 86,456,061 | 95,790       | 162,000 | 75,150,684 | 11,047,587 |
| 計 △80,435 |         |      |            | 計 75,408,474 |         |            |            |

## 2 議案第1号 平成30年度福岡市一般会計

### ( 歳 入 )

| 説明書<br>ページ    | 款・項                      | 目                            | 補正前の額      | 補正額     | 計          |
|---------------|--------------------------|------------------------------|------------|---------|------------|
|               |                          |                              | 千円         | 千円      | 千円         |
| 9             | 24 諸収入<br>11 受託事業<br>収 入 | 5 経 済 観 光<br>文 化 費<br>受託事業収入 | 338,997    | △80,435 | 258,562    |
| その他の科目 (本補正外) |                          |                              | 75,149,912 | —       | 75,149,912 |
| 一般会計 合計       |                          |                              | 75,488,909 | △80,435 | 75,408,474 |

### ( 歳 出 )

| 説明書<br>ページ    | 款・項                  | 目         | 補正前の額      | 補正額      | 計          |
|---------------|----------------------|-----------|------------|----------|------------|
|               |                      |           | 千円         | 千円       | 千円         |
| 26<br>5<br>27 | 7 経済観光文化費<br>3 文 化 費 | 3 文 化 財 費 | 820,818    | △80,435  | 740,383    |
| その他の科目 (本補正外) |                      |           | 85,715,678 | —        | 85,715,678 |
| 一般会計 合計       |                      |           | 86,536,496 | △ 80,435 | 86,456,061 |

### (繰越明許費)

| 説明書<br>ページ      | 款・項                  | 目       | 事業名           | 関係予算額           |
|-----------------|----------------------|---------|---------------|-----------------|
| 142<br>5<br>143 | 7 経済観光文化費<br>2 観 光 費 | 1 観 光 費 | M I C E の 振 興 | 千円<br>1,814,142 |

# 補正予算案（第4号）＜経済観光文化局所管分＞

| 説 明                                 |    |
|-------------------------------------|----|
|                                     | 千円 |
| ○ 埋蔵文化財発掘調査受託収入<br>埋蔵文化財発掘調査受託収入の減額 |    |
|                                     |    |
|                                     |    |

| 説 明   |          |         |   |         |          |         |   |
|---|----------|---------|---|---------|----------|---------|---|
|   | 千円       |         |   |         |          |         |   |
| ○ 埋蔵文化財調査費の減額<br>発掘調査費<br>発掘調査対象面積の縮小等による埋蔵文化財受託調査費の減額  | △80,435  |         |   |         |          |         |   |
| <table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <thead> <tr> <th>補正前の額</th> <th>補正額</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">337,244</td> <td style="text-align: center;">△ 80,435</td> <td style="text-align: center;">256,809</td> </tr> </tbody> </table> | 補正前の額    | 補正額     | 計 | 337,244 | △ 80,435 | 256,809 | ( 関連歳入<br>(24) 諸収入 △80,435<br>埋蔵文化財発掘調査受託収入 ) |
| 補正前の額   | 補正額      | 計       |   |         |          |         |   |
| 337,244   | △ 80,435 | 256,809 |   |         |          |         |   |
|   |          |         |   |         |          |         |   |
|   |          |         |   |         |          |         |   |

| 繰越額 |         | 繰越事由                  |
|-----|---------|-----------------------|
| 補正前 | 補正後     |                       |
| 千円  | 千円      |                       |
| —   | 130,495 | 工期の都合により、年度内に完了しないため。 |

### 3 議案第16号

#### 福岡市地方活力向上地域における本社機能の整備促進に関する条例の一部を改正する条例案について

|          |   |
|----------|---|
| 議案番号     | 第16号  |
| 名称       | 福岡市地方活力向上地域における本社機能の整備促進に関する条例の一部を改正する条例案   |
| 改正理由及び内容 | 国が、平成30年度に地域再生法及び関連法令を改正し、東京23区の企業が本社機能を地方に移転する場合（移転型）、又は地方の企業が本社機能を拡充する場合（拡充型）に、自治体が固定資産税の優遇措置（不均一課税）を行ったときの減収補てん制度の適用期限を2年間延長したため、本市における固定資産税の優遇措置の期限も2年間延長し、また併せて一部文言の整理も行うもの。 |
| 施行期日     | 公布の日から施行する。   |

#### 優遇措置の内容について

平成32年3月31日までに福岡県知事から本社機能の整備にかかる計画（地方活力向上地域等特定業務施設整備計画）の認定を受けた者で、新・増設する本社機能の用に供する家屋及び償却資産の取得価額の合計が3,800万円（中小企業は1,900万円）以上であるものについて、それら本社機能の用に供する家屋等対象資産の固定資産税の税率（通常1.4%）を3年間軽減するもの。

〈税率〉

1年目：0%（課税免除）

2年目：0.35%（通常 $\frac{1}{4}$ ）

3年目：0.7%（通常 $\frac{1}{2}$ ）

福岡市地方活力向上地域における本社機能の整備促進に関する条例の一部を改正する条例案 新旧対照表

| 現 行  | 改 正 案  |
|--|--|
| <p>(定義)</p> <p>第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 認定事業者 地域再生法（平成17年法律第24号。以下「法」という。）第17条の2第1項に規定する<u>地方活力向上地域特定業務施設整備計画</u>について同条第3項の規定による福岡県知事の認定を受けた事業者をいう。</p> <p>(2) (略)</p> <p>(3) 本社機能の整備 認定事業者が、法第17条の2第4項に規定する<u>認定地方活力向上地域特定業務施設整備計画</u>に基づき、市域内において特別償却設備等を取得し、又は賃借し、かつ、雇用機会を創出すること。</p> <p>2 (略)</p> <p>(指定特別償却設備等)</p> <p>第4条 市長は、認定事業者が、法第17条の2第3項の規定による認定を受けた日から同日の翌日以後2年を経過する日までの間に市域内において法第17条の2第4項に規定する認定地方活力向上地域特定業務施設整備計画に従って、取得した特別償却設備等を、市税の特例措置の適用がある家屋、構築物、償却資産又は土地（以下「指定特別償却設備等」という。）として指定することができる。</p> <p>2・3 (略)</p> <p>4 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、それぞれ当該各号に定める取消しを行うものとする。</p> | <p>(定義)</p> <p>第2条 この条例において、次の各号に掲げる用語の意義は、それぞれ当該各号に定めるところによる。</p> <p>(1) 認定事業者 地域再生法（平成17年法律第24号。以下「法」という。）第17条の2第1項に規定する<u>地方活力向上地域等特定業務施設整備計画</u>について同条第3項の規定による福岡県知事の認定を受けた事業者をいう。</p> <p>(2) (略)</p> <p>(3) 本社機能の整備 認定事業者が、法第17条の2第4項に規定する<u>認定地方活力向上地域等特定業務施設整備計画</u>に基づき、市域内において特別償却設備等を取得し、又は賃借し、かつ、雇用機会を創出すること。</p> <p>2 (略)</p> <p>(指定特別償却設備等)</p> <p>第4条 市長は、認定事業者が、法第17条の2第3項の規定による認定を受けた日から同日の翌日以後2年を経過する日までの間に市域内において法第17条の2第4項に規定する認定地方活力向上地域等特定業務施設整備計画に従って、取得した特別償却設備等（<u>償却資産にあつては、機械及び装置に限る。</u>）を、市税の特例措置の適用がある家屋、構築物、償却資産又は土地（以下「指定特別償却設備等」という。）として指定することができる。</p> <p>2・3 (略)</p> <p>4 市長は、次の各号のいずれかに該当するときは、それぞれ当該各号に定める取消しを行うものとする。</p> |

| 現 行  | 改 正 案   |
|--|---|
| <p>(1) 法第17条の2第6項の規定により<u>認定地方活力向上地域特定業務施設整備計画</u>に係る認定を取り消されたとき及び前項の規定による申請の内容に虚偽又は不正があったと認められるとき 指定の全部の取消し</p> <p>(2) (略)</p> <p>5 (略)</p> <p>附則</p> <p>1・2 (略)</p> <p>(失効)</p> <p>3 この条例は、<u>平成32年3月31日</u>限り、その効力を失う。ただし、この条例の失効の際現に第5条の規定による課税の特例の適用がある指定特別償却設備等及び同日までに市域内において取得された特別償却設備等については、同日後もなおその効力を有する。</p> | <p>(1) 法第17条の2第6項の規定により<u>認定地方活力向上地域等特定業務施設整備計画</u>に係る認定を取り消されたとき及び前項の規定による申請の内容に虚偽又は不正があったと認められるとき 指定の全部の取消し</p> <p>(2) (略)</p> <p>5 (略)</p> <p>附則</p> <p>1・2 (略)</p> <p>(失効)</p> <p>3 この条例は、<u>平成34年3月31日</u>限り、その効力を失う。ただし、この条例の失効の際現に第5条の規定による課税の特例の適用がある指定特別償却設備等及び同日までに市域内において取得された特別償却設備等については、同日後もなおその効力を有する。</p> |



